

第11回豊山町中学校施設整備基本構想会議議事録

- 1 開催日時 令和5年12月26日(火) 午前10時
- 2 開催場所 豊山町役場3階 会議室3・4
- 3 出席者
名古屋市立大学 特任教授 鈴木 賢一 (会長)
愛知工業大学工学部 教授 鈴木 森晶 (副会長)
愛知学泉大学家政学部 教授 前田 治
豊山中学校 校長 篠田 弘男
豊山町議会 議長 坪井 孝仁
豊山中学校PTA 会長 保科 秀賢

事務局
教育長 北川 昌宏
教育委員会事務局長 安藤 憲司
教育参事 小出 泰司
学校教育課長 菊地 智行
学校教育課学校教育グループ長 山永 五香
学校教育課学校教育グループ主任 安藤 彬

株式会社地域計画建築研究所
チームマネージャー 間瀬 高歩
チーフ 塗師 木伸介
- 4 欠席
中部大学教職課程センター 教授 武者 一弘
愛知教育大学教育学部 教授 風岡 治
社会福祉法人豊山町社会福祉協議会 会長 池山 和徳
- 5 傍聴者 1名
- 6 議題

- (1) 建設候補地の比較検討について
- (2) 目指すべき中学校のあり方について（更なる検討項目）

7 会議資料

資料1 建設候補地の比較検討

資料2 目指すべき中学校のあり方について（更なる検討項目）

8 議事内容

【（1）建設候補地の比較検討】

-事務局より資料1を説明-

委員：整備コストの順位が入れ替わったということであるが、どの程度金額の差があるのか。豊山スカイプール等敷地におけるA案の場合、運動場側に体育館棟を持って行った場合、教室棟の4階は余剰教室となるのか。また、B案の場合、連絡橋は不要であるのか。「既存県道歩道橋を移管してもらえない場合は別途歩道橋が必要」と記載があるが、これは連絡橋と別の話か。

事務局：スカイプール等敷地B案については4階に体育館を設けるというわけではなく、体育館の1階をピロティとし駐車場にする案である。それによってコストが数億円上積みされることとなり、順位が逆転している。連絡橋について、スカイプール等敷地B案において、建物敷地はスカイプール敷地に集約されているので、既存の県所有歩道橋を活用できないかと考えている。ただし、現時点では協議等を行っていない。難しい場合は別途専用の歩道橋を設ける必要があると考えている。

委員：歩道橋が移管できない場合は新たに連絡橋が必要になるのではないか。整備コストについて1、2位とスカイプール敷地のコストの差はどれほどか。

事務局：豊山中学校とスカイプール等敷地で20%程度違うと考えている。

副会長：豊山中学校敷地の場合は解体コストまで算入されていることと思うが、スカイプール等敷地の場合は現校舎の解体コストは含まれているか。

事務局：いずれの案も既存校舎の解体コストは含んでいる。

副会長：工期・工事中の影響の項目で、学校運営への影響についてスカイプール等敷地において「影響は無い」と修正されたとのことであるが、市街化調整区域も同様ではないか。

事務局：ご指摘の通りであり、総評も含め修正する。

- 副会長：最終的に判断するにあたり、何を優先するか、ということになるが、運動場のサイズ感、コスト、周辺への影響が違いとして出てきている。完成後、この先50年を考えた場合に何を優先すべきか、ということを考える必要がある。
- 事務局：非常に難しい命題であり、この会議は中学校に関する議論であり、小学校の改築まで見据える議論はこの会議の能力を超えてしまう。コストについても同様である。液状化対策や耐震用防火水槽、リサイクルステーション等についてこの会議で議論すべきか、難しい。この会議においては、中学校の理想について議論をするしかないかと思う。
- 委員：生徒目線の評価が無い。どれが生徒にとって、地域住民にとって開かれた良いものになるのか。何か指標になるようなものはないか。今の運動場は狭いイメージがある。生徒たちはどういったものを望んでいるのか。現豊山中学校敷地とスカイプール等敷地は300～500m程度の距離であるので、通学が遠くなる等は別にして、使い勝手を考えた場合どうか。
- 事務局：令和3年度の検討で生徒への意見収集をおこなっており、運動場や教室を広くしてほしいという意見があった。それについては当然考えていく必要がある。
- 委員：項目として何か入れた方が良くとも感じる。
- 会長：地域の人も含めた利用者の目線の指標が入ると良い。
- 委員：消去法で考えると、市街化調整区域については「コストの高騰」の懸念があるために個人的には難しいと考えている。次に運動場については、テニスコート1面はさみしいと感じる。運動場はより広い方が良いと感じる。人と地域の可能性というコンセプトとしているが、社会教育センターとの連携、生涯学習についてどこまで重要視するか。社会教育センターとの連携を想定した場合、学校内に不要な室も出てくるのではないか。駐車場については職員で一定数は埋まるのではないか。
- 事務局：生徒からはテニスコートは4面が欲しい、サッカーと野球、テニスが同時利用している現状の改善について意見があった。人と地域の可能性というコンセプトから、図書室の相互利用や今後の生徒数の変化も見据えないといけない。部活動の地域移行も踏まえ、新しい中学校においては職員用だけでなく地域利用のための駐車場も必要と考えている。コストの高騰については言及しない方が良いか。
- 会長：高騰という言葉を使わなくても良いと感じる。

事務局：中学校の駐車場は現在43台であるが、ヒアリングから、現在駐車枠外に停めているパートタイム職員の分に加えて来客用も含め65台程度と設定している。

委員：現状の運動場は狭いと感じている。今日もサッカー部が練習試合をしているが、ゴールからゴールまでが狭く、横が狭く縦が広い現状である。野球については地区の大会をおこなっていることが多い。夏の大会については豊山グラウンドで実施している。豊山グラウンド程度のサイズ、環境が整っている施設は西春日井地域では豊山町と西枇杷島の球場のみである。野球のマウンドについては体育大会の際には一時的に取り除いている。テニスコートは現在、体育館棟の屋上に1面あるので、運動場は1面あれば良いと感じる。運動場は広ければ広い程良い。いずれの案の場合でも既存の体育館棟のテニスコートやプールの利活用は必要になってくるのではないかと考えている。4階建ての場合、日照権の問題はないか。豊山中学校敷地B案の教室配置について、教室の配置は校舎等の北側なのか南側なのかどちらであるか。

事務局：4階建てにすることは問題ない。豊山中学校敷地B案であれば、教室は南側に配置すると考えている。

会長：現在、配置イメージを示しているが、敷地決定後、設計段階で様々なバリエーションを検討することが可能かと思う。

委員：個人的にはスカイプール等敷地B案が良いと感じる。駐車場が体育館の1階に配置されており、雨に濡れず移動しやすく、バリアフリーで良い。スカイプール等敷地について、空港施設や工場への配慮、臭気対策についてはどのようなものか。

事務局：スカイプール等敷地の周辺には工場が存在しており、工場敷地内への視線の配慮について意見される可能性がある。食品を扱う工場より発生する臭いが気になるという意見もあるため、給気口の向き等の何か対策をする必要がある可能性がある。空港関係については滑走路側に無線施設があり、半径1.5キロメートル範囲内に建物を建てる際は相談を行うようにとされている。

会長：体育館を2階に配置した場合は避難所の機能としては配慮が必要となる。

副会長：2階建ての体育館については、構造的にはNGであり、避難所が最も壊れやすい構造をもっているのは良くないと思う。又、かなりの工事費がかかるのではないか。基礎工事だけで体育館一つに相当するのではないか。

- 事務局：管理棟と運動場の敷地が分かれることについてはどのように考えられるか。
- 委員：生徒の安全面から職員室から運動場が見えた方が良いのではないかと考える。体育の授業等でケガがあった場合に運動場から保健室に直接入れる形であった方が良い。
- 事務局：体育教官室を運動場側に配置する形でも問題あるか。
- 委員：体育教官も担任業務があり、他の教師とのコミュニケーションも必要であるため、体育教官室に常時教師を配置するのは難しいのではないか。
- 委員：体育教官室があれば良いが、常駐は難しいのではないか。敷地が分かれた場合に2階に職員室を配置する等で見通しを確保するようなことをした方が良い。又、教室での緊急対応のために職員室と保健室は近接することが必要となる。いずれにせよ、スカイプール等敷地のいずれの案も常時職員が滞在できるわけではないが、運動場側にクラブハウスに併設する等することで職員が滞在できる部屋が必要ではないか。
- 副会長：体育館と管理棟を豊山グランド敷地、スカイプール敷地に教室棟と駐車場のすべて設け、渡り廊下2本により接続するのが良いのではないか。
- 会長：運動場に子どもだけという状況はまずいと考える。管理棟をグランド敷地に配置することは良いと考える。連絡橋については、道路幅も広いため、費用も高額になるだろう。既存歩道橋の利用についても事前に協議しておけると良い。
- 副会長：歩道橋では不十分で、教室に何の障害もなく行けるようにする必要があるのではないか。
- 委員：体育館を2階に置いた場合と1階に配置した場合と、どの程度メンテナンス費用が変わってくるか。敷地が2つに分かれると職員の守備範囲が広がる。防犯カメラ等を有効に活用していくと良いのではないか。豊山中学校敷地の場合は法律を満たしていたとしても、近隣住民への日照配慮が必要になると考える。
- 会長：様々な意見を頂いているが、総合的に判断する必要がある。最終は教育委員会にてご判断いただく必要があるように思う。
- 委員：スカイプール等敷地両案において、現在の豊山グランドの駐車場部分についても運動場になっているが、運動場が不整形となり、使いにくいのではないか。駐車場をその部分に設ける方が良いのではないか。
- 会長：有効活用について検討が必要である。

【（２） 目指すべき中学校のあり方について（更なる検討項目）】

-事務局より資料２を説明-

委員：４階建てを想定しているということで、エレベーターはどのようにする予定か。現在のエレベーターは狭いため、ストレッチャーが入る等、緊急時に対応できるサイズにするという記載が必要ではないか。

事務局：法改正によりエレベーターの設置は義務となっている。サイズについては追記する。

委員：「１．教育環境の質的向上」の４つ目「１クラスの生徒数は国の動向を踏まえ、３５人を基準に計画する。」について将来的な１クラスの生徒数について３５人が良いのか、それより少ない人数を想定した方が良いのかについてはいかがか。

事務局：中学校の１クラスの生徒数に関する基準について、愛知県は国より少ない人数を設定している。基準の変更もあるかと思うが、現時点としてこのような記載とさせていただいている。

委員：出生数が１１０人を切っている状況が続いているので、今後余裕が出ると感じるので、現在の設定で十分に対応できるのではないかと感じる。

事務局：総合計画において、人口について記載しているため、そちらとの齟齬が出ないためにも、公式の数字を使用している。

委員：３ページ５段目「トイレの床は乾式とし、清掃しやすく衛生的な施設を計画する。」については世の中の流れとして良いと思うが、乾式になる場合はトイレに入る際の履物を履き替えるかについてはどうするか。履き替える方が衛生的で良いのではないか。

事務局：床が湿式のトイレは湿気が増え、衛生的ではないという考えから現在は乾式に切り替える流れとなっている。乾式の場合、履き替えは不要ではないかと考えている。

会長：履き替えている学校とそうでない学校両方ある。

委員：ＬＧＢＴＱ対策として多目的トイレが世の中の的に普及しつつあるが、学校においても男女どちらでも使えるトイレも必要になるのではないか。

会長：設計段階で話題になると思うが、他校では個室化まで進んでいるところもある。個室化したものの、上手に運用できていないところもあり、今後検討が必要である。

事務局：職員も含めて考えていく必要がある。

委員：２ページ「体育館、武道場、プールは財政負担や地域連携と合わせて検討する。」について、体育館の椅子の出し入れについて気を遣うことが多

い。備品については軽く、儀礼の際に容易に設営をできるものであると良い。4 ページ「3. 地域コミュニティの拠点形成」に関連するが、学校施設の利用をどの程度想定するか。社会教育センターとの連携がある場合はそちらで代用出来るものもあると思うので棲み分けを検討する必要がある。

会 長：最終的に職員や生徒から意見を聞くことについてどこかに記載しておくことで設計の精度が上がると感じる。特に障がいのある方の意見を聞く機会を設けた方が良い。それぞれの意見を整理し、反映頂けたらと思う。

【その他】

豊山中学校改築基本（整備）計画（素案）について

-事務局より豊山中学校改築基本（整備）計画（素案）を説明-

事務局：素案の段階であるので今後、本日の議論なども踏まえ反映させていく予定である。

上記のとおり第11回豊山町中学校施設整備基本構想会議の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席者1人が署名する。

令和6年 2月 13日

会 長 鈴 木 賢 一

署名人 鈴 木 森 晶